



「品位と実力」味小だより

2016年12月14日

澄んだ冷気が心地よい今日この頃ですが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先週は、「**家庭学習がんばり週間**」でした。子どもたちの取り組みの様子は、いかがだったでしょうか。

家庭学習チェック項目

- 自分の立てたスケジュールにそって、計画通りにできましたか。
- 宿題は、全部しましたか。
- 決まった場所で学習しましたか。
- 決まった時間（各学年の目安の時間）学習しましたか。
- テレビ等を切って、学習しましたか。



自分で立てたスケジュールにそって頑張っている子どもたち、力を伸ばしている子どもたちを認め、ほめてやってください。

そして、これからも子どもたちが主体的な学習者へと成長していくために、学校と家庭が協力をして子どもたちの学びを支えていきたいと思えます。ご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

伝統のあいさつ「語先後礼」！

先日、放送委員会では、「語先後礼のあいさつの仕方について」の番組を制作し、お昼の放送で全校に紹介しました。その内容は、とても分かりやすく、朝、大きな声で気持ちのよいあいさつをする児童がたくさん増えました。

2学期は、学習や学校行事は勿論ですが、委員会活動などの仕事に責任をもって取り組む姿や朝早くから校門清掃などのボランティア活動を頑張る姿など、子どもたちの成長をたくさん見ることができました。

こうした児童自身による取組を通して、子どもたちにとって生涯役に立つ力、生活力を伸ばしていきたいと思えます。

遊びの中で学ぶこと！

子どもは「遊び」の天才と言われます。身の回りにあるものを取り入れたり、身の回りにある出来事をとらえたりして、遊びに熱中します。そして、興味のあることは、一生懸命に労力と時間を費やし、意欲を燃やし続けます。

子どもたちの集団遊びの中には、人として成長するために大切な人間性の基礎がいつまっています。弱い立場の人に対する思いやりの気持ち、より楽しく遊ぼうとするための想像力や創造性、話し合いで決めようとする民主性、遊びに参加できるようになるための向上心、我慢や努力などなど。

子どもたちは、それらを集団遊びの中で自然と身につけていきます。人として成長していくために大切な基礎基本を身につけるために、子どもたちは、自分たちの社会を作り、その中で鍛え合いながら遊んでいます。

子ども時代の遊びは、人としての基盤が育ち、生きる力の原点である人間関係力も育ちます。友達と思いっきり遊び、仲間と感動を分かち合い、人として学ばなければならないことをたくさん学んでほしいと思えます。



